

## 令和二年度 シラバス (授業計画)

教科名	数学	単位数	3	単位
科目名	数学 I	対象学年	1	学年
科目分類	必修	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版 高等学校 数学 I (数研出版)	担当者	井上、立原、我妻	
使用教材	Study-Upノート 数学 I (数研出版)			
学習内容	ねらい	高校数学の知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な見方や考え方を認識できるようにする。		
	1 学期	第1章 数と式 第1節 式の計算 第3節 1次不等式 第2章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	第2節 実数 第4節 集合と命題	授業時間  <b>12</b>  時間
	2 学期	第2章 2次関数 第2節 2次方程式と2次不等式 第3章 図形と計量 第1節 三角比		授業時間  <b>39</b>  時間
	3 学期	第3章 図形と計量 第2節 三角形への応用 第4章 データの分析		授業時間  <b>30</b>  時間
評価観点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。</li> <li>2. 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的考え方で問題を解くことができるか。</li> <li>3. 主体的に授業に取り組んでいたか。</li> </ol>			
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期考査の素点</li> <li>2. 平常点(授業態度 提出物等の提出状況およびその理解度)</li> </ol>			
備考				

## 令和二年度 シラバス (授業計画)

教科名	数学	単位数	2	単位
科目名	数学A	対象学年	1	学年
科目分類	必修	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版 高等学校 数学A(数研出版)	担当者	井上、野原	
使用教材	Study-Upノート 数学A(数研出版)			
学習内容	ねらい	高校数学の知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な見方や考え方を認識できるようにする。		
	1 学期	第1章 場合の数と確率 第1節 集合の数 第2節 確率	授業時間  12  時間	
	2 学期	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形	授業時間  26  時間	
	3 学期	第3章 整数の性質 第1節 約数と倍数 第2節 ユークリッドの互除法 第3節 整数の性質の活用	授業時間  20  時間	
評価観点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。</li> <li>2. 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的考え方で問題を解くことができるか。</li> <li>3. 主体的に授業に取り組んでいたか。</li> </ol>			
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期考査の素点</li> <li>2. 平常点(授業態度 提出物等の提出状況およびその理解度)</li> </ol>			
備考				

## 令和二年度 シラバス (授業計画)

教科名	数学	単位数	4	単位
科目名	数学Ⅱ 文系(特進)	対象学年	2	学年
科目分類	必修	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版高等学校数学Ⅱ (数研出版)	担当者	我妻	
使用教材	Study-Upノート 数学Ⅱ (数研出版)			
学習内容	ねらい	方程式・式と証明, 図形と方程式, いろいろな関数および微分・積分について理解させ, 基礎的な知識の習得を図り, 計算や図・グラフにして表現するなど、難しい事柄を具体的に処理する能力を伸ばすとともに, それらを活用する態度を育てる。		
	1学期	第1章 方程式・式と証明 第1節 整式の乗法・除法と分数式 第2節 2次方程式 第3節 高次方程式 第4節 式と証明 第2章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円	授業時間  12  時間	
	2学期	第3節 軌跡と領域 第3章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理 第4章 指数関数・対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	授業時間  39  時間	
	3学期	第5章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 導関数の応用 第3節 積分	授業時間  30  時間	
評価観点	1. 基本的な式の変形ができ、それを使うことができるか。 2. 問題を正確に読みとり、それに応じた手段で解くことができるか。 3. 主体的に授業に取り組んでいたか。			
評価方法	1. 定期考査の素点 2. 平常点(予習状況・授業態度 提出物等の提出状況およびその理解度)			
備考				

## 令和二年度 シラバス (授業計画)

教科名	数学	単位数	4	単位
科目名	数学Ⅱ文系	対象学年	2	学年
科目分類	必修	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版高等学校数学Ⅱ(数研出版)	担当者	向井・我妻・野原	
使用教材	Study-Upノート 数学Ⅱ (数研出版)			
学習内容	ねらい	方程式・式と証明, 図形と方程式, いろいろな関数および微分・積分について理解させ, 基礎的な知識の習得を図り, 計算や図・グラフにして表現するなど、難しい事柄を具体的に処理する能力を伸ばすとともに, それらを活用する態度を育てる。		
	1学期	第1章 方程式・式と証明 第1節 整式の乗法・除法と分数式 第2節 2次方程式 第3節 高次方程式 第4節 式と証明 第2章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円	授業時間  12  時間	
	2学期	第3節 軌跡と領域 第3章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理 第4章 指数関数・対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	授業時間  39  時間	
	3学期	第5章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 導関数の応用 第3節 積分	授業時間  30  時間	
評価観点	1. 基本的な式の変形ができ、それを使うことができるか。 2. 問題を正確に読みとり、それに応じた手段で解くことができるか。 3. 主体的に授業に取り組んでいたか。			
評価方法	1. 定期考査の素点 2. 平常点(予習状況・授業態度 提出物等の提出状況およびその理解度)			
備考				

## 令和二年度 シラバス (授業計画)

教科名	数学	単位数	4	単位
科目名	数学Ⅱ 理系(特進)	対象学年	2	学年
科目分類	必修	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版高等学校数学Ⅱ(数研出版)	担当者	向井	
使用教材	4プロセス 数学Ⅱ+B(数研出版)			
学習内容	ねらい	方程式・式と証明, 図形と方程式, いろいろな関数および微分・積分について理解させ, 基礎的な知識の習得を図り, 計算や図・グラフにして表現するなど、難しい事柄を具体的に処理する能力を伸ばすとともに, それらを活用する能力を育てる。		
	1学期	第1章 方程式・式と証明 第1節 整式の乗法・除法と分数式 第2節 2次方程式 第3節 高次方程式 第4節 式と証明 第2章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円	授業時間  12  時間	
	2学期	第3節 軌跡と領域 第3章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理 第4章 指数関数・対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	授業時間  39  時間	
	3学期	第5章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 導関数の応用 第3節 積分	授業時間  30  時間	
評価観点	1. 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。 2. 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的思考方で問題を解くことができるか。 3. 主体的に授業に取り組んでいたか。			
評価方法	1. 定期考査の素点 2. 平常点(授業態度 提出物等の提出状況およびその理解度)			
備考				

## 令和二年度 シラバス (授業計画)

教科名	数学	単位数	4	単位
科目名	数学Ⅱ 理系	対象学年	2	学年
科目分類	必修	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版高等学校数学Ⅱ(数研出版)	担当者	向井	
使用教材	4プロセス 数学Ⅱ+B(数研出版)			
学習内容	ねらい	方程式・式と証明, 図形と方程式, いろいろな関数および微分・積分について理解させ, 基礎的な知識の習得を図り, 計算や図・グラフにして表現するなど、難しい事柄を具体的に処理する能力を伸ばすとともに, それらを活用する能力を育てる。		
	1学期	第1章 方程式・式と証明 第1節 整式の乗法・除法と分数式 第2節 2次方程式 第3節 高次方程式 第4節 式と証明 第2章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円	授業時間  12  時間	
	2学期	第3節 軌跡と領域 第3章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理 第4章 指数関数・対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	授業時間  39  時間	
	3学期	第5章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 導関数の応用 第3節 積分	授業時間  30  時間	
評価観点	1. 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。 2. 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的思考方で問題を解くことができるか。 3. 主体的に授業に取り組んでいたか。			
評価方法	1. 定期考査の素点 2. 平常点(授業態度 提出物等の提出状況およびその理解度)			
備考				

## 令和二年度 シラバス (授業計画)

教科名	数学	単位数	2	単位
科目名	数学B(特進)	対象学年	2	学年
科目分類	必修選択	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版高等学校数学B(数研出版)	担当者	向井	
使用教材	4プロセス 数学Ⅱ+B(数研出版)			
学習内容	ねらい	ベクトル・数列・確率統計について理解させ、基礎的な知識の習得を図り、計算や図・グラフにして表現するなど、難しい事柄を具体的にして処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する能力を育てる。		
	1学期	第1章 平面上のベクトル 第1節 平面上のベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形  第2章 空間のベクトル	授業時間  <b>6</b>  時間	
	2学期	第2章 空間のベクトル  第3章 数列 第1節 数列 第2節 いろいろな数列	授業時間  <b>26</b>  時間	
	3学期	第3章 数列 第3節 漸化式と数学的帰納法	授業時間  <b>20</b>  時間	
評価観点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。</li> <li>2. 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的思考方で問題を解くことができるか。</li> <li>3. 主体的に授業に取り組んでいたか。</li> </ol>			
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期考査の素点</li> <li>2. 平常点(授業態度 提出物等の提出状況およびその理解度)</li> </ol>			
備考				

## 令和二年度 シラバス (授業計画)

教科名	数学	単位数	2	単位
科目名	数学B	対象学年	2	学年
科目分類	必修選択	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版高等学校数学B(数研出版)	担当者	向井	
使用教材	4プロセス 数学Ⅱ+B(数研出版)			
学習内容	ねらい	ベクトル・数列・確率統計について理解させ、基礎的な知識の習得を図り、計算や図・グラフにして表現するなど、難しい事柄を具体的にして処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する能力を育てる。		
	1学期	第1章 平面上のベクトル 第1節 平面上のベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形  第2章 空間のベクトル	授業時間  <b>6</b>  時間	
	2学期	第2章 空間のベクトル  第3章 数列 第1節 数列 第2節 いろいろな数列	授業時間  <b>26</b>  時間	
	3学期	第3章 数列 第3節 漸化式と数学的帰納法	授業時間  <b>20</b>  時間	
評価観点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。</li> <li>2. 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的思考方で問題を解くことができるか。</li> <li>3. 主体的に授業に取り組んでいたか。</li> </ol>			
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定期考査の素点</li> <li>2. 平常点(授業態度 提出物等の提出状況およびその理解度)</li> </ol>			
備考				



## 令和二年度 シラバス (授業計画)

教科名	数学	単位数	4	単位
科目名	数学 I 理系(特進)	対象学年	3	学年
科目分類	必修選択	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版 高等学校 数学 I (数研出版)	担当者	大塚	
使用教材	三訂版 メジアン数学演習I・A・II・B(数研出版)			
学習内容	ねらい	数学 I・Aの復習及び、入試問題を視野に入れた応用力を養う。		
	1 学期	1 数と式 2 2次関数 3 図形と計量	授業時間	12 時間
	2 学期	4 データの分析 5 場合の数と確率 6 図形の性質 9 整数の性質	授業時間	52 時間
	3 学期	問題演習	授業時間	40 時間
評価観点	1. 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。 2. 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的思考方で問題を解くことができるか。 3. 主体的に授業に取り組んでいたか。			
評価方法	1. 定期考査の素点 2. 平常点(出席状況, 授業態度, 提出物等の提出状況およびその理解度)			
備考				

## 令和二年度 シラバス (授業計画)

教科名	数学	単位数	4	単位
科目名	数学 I 理系	対象学年	3	学年
科目分類	必修選択	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版 高等学校 数学 I (数研出版)	担当者	大塚	
使用教材	三訂版 メジアン数学演習I・A・II・B(数研出版)			
学習内容	ねらい	数学 I・Aの復習及び、入試問題を視野に入れた応用力を養う。		
	1 学期	1 数と式 2 2次関数 3 図形と計量	授業時間  12  時間	
	2 学期	4 データの分析 5 場合の数と確率 6 図形の性質 9 整数の性質	授業時間  52  時間	
	3 学期	問題演習	授業時間  40  時間	
評価観点	1. 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。 2. 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的思考方で問題を解くことができるか。 3. 主体的に授業に取り組んでいたか。			
評価方法	1. 定期考査の素点 2. 平常点(出席状況, 授業態度, 提出物等の提出状況およびその理解度)			
備考				

# 令和二年度 シラバス (授業計画)

教科名	数学	単位数	4/6	単位
科目名	数学Ⅲ(特進)	対象学年	3	学年
科目分類	必修選択	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版高等学校数学Ⅲ(数研出版)	担当者	立原	
使用教材	改訂版 クリアー数学Ⅲ(数研出版) 三訂版 メジアン数学演習I・A・II・B(数研出版)			
学習内容	ねらい	数学における基本的な概念や原理法則の理解 基礎的な知識の習得と技能の習熟 事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばす		
	1 学期	関数 極限 微分法	分数関数, 無理関数, 逆関数と合成関数 数列の極限 関数の極限 微分係数と導関数 導関数の計算 いろいろな関数の導関数 高次導関数 関数のいろいろな表し方と導関数	授業時間  12  時間
	2 学期	微分法の応用 第3章 三角関数 積分法とその応用 第4章 指数関数・対数関数 問題演習	導関数の応用 速度と近似式 不定積分 定積分 積分法の応用 大学入試問題	授業時間  52  時間
	3 学期	問題演習	大学入試問題	授業時間  40  時間
評価観点	1. 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。 2. 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的思考方で問題を解くことができるか。 3. 主体的に授業に取り組んでいたか。			
評価方法	1. 定期考査の素点 2. 平常点(出席状況, 授業態度, 提出物等の提出状況およびその理解度)			
備考				

## 令和二年度 シラバス (授業計画)

教科名	数学	単位数	4/6	単位
科目名	数学Ⅲ	対象学年	3	学年
科目分類	必修選択	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版高等学校数学Ⅲ(数研出版)	担当者	立原	
使用教材	改訂版 クリアー数学Ⅲ(数研出版) 三訂版 メジアン数学演習I・A・II・B(数研出版)			
学習内容	ねらい	数学における基本的な概念や原理法則の理解 基礎的な知識の習得と技能の習熟 事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばす		
	1 学期	関数 極限 微分法	分数関数, 無理関数, 逆関数と合成関数 数列の極限 関数の極限 微分係数と導関数 導関数の計算 いろいろな関数の導関数 高次導関数 関数のいろいろな表し方と導関数	授業時間  12 時間
	2 学期	微分法の応用 第3章 三角関数 積分法とその応用 第4章 指数関数・対数関数 問題演習	導関数の応用 速度と近似式 不定積分 定積分 積分法の応用 大学入試問題	授業時間  52 時間
	3 学期	問題演習	大学入試問題	授業時間  40 時間
評価観点	1. 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。 2. 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的思考方で問題を解くことができるか。 3. 主体的に授業に取り組んでいたか。			
評価方法	1. 定期考査の素点 2. 平常点(出席状況, 授業態度, 提出物等の提出状況およびその理解度)			
備考				

# 令和二年度 シラバス (授業計画)

教科名	数学	単位数	2/6	単位
科目名	数学Ⅲ(特進)	対象学年	3	学年
科目分類	必修選択	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版高等学校数学Ⅲ(数研出版)	担当者	立原	
使用教材	改訂版 クリアー数学Ⅲ(数研出版) 三訂版 メジアン数学演習I・A・II・B(数研出版)			
学習内容	ねらい	数学における基本的な概念や原理法則の理解 基礎的な知識の習得と技能の習熟 事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばす		
	1学期	複素数平面 複素数の極形式と乗法、除法 ド・モアブルの定理 複素数と図形	授業時間	12
	2学期	式と曲線 放物線, 楕円, 双曲線 2次曲線の平行移動 2次曲線と直線 2次曲線の性質 媒介変数表示 極座標と極方程式 コンピュータといろいろな曲線	授業時間	26
	3学期	問題演習 大学入試問題	授業時間	20
評価観点	1. 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。 2. 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的な考え方で問題を解くことができるか。 3. 主体的に授業に取り組んでいたか。			
評価方法	1. 定期考査の素点 2. 平常点(出席状況, 授業態度, 提出物等の提出状況およびその理解度)			
備考				

# 令和二年度 シラバス (授業計画)

教科名	数学	単位数	2/6	単位
科目名	数学Ⅲ	対象学年	3	学年
科目分類	必修選択	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版高等学校数学Ⅲ(数研出版)	担当者	立原	
使用教材	改訂版 クリアー数学Ⅲ(数研出版) 三訂版 メジアン数学演習I・A・II・B(数研出版)			
学習内容	ねらい	数学における基本的な概念や原理法則の理解 基礎的な知識の習得と技能の習熟 事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばす		
	1学期	複素数平面 複素数の極形式と乗法、除法 ド・モアブルの定理 複素数と図形	授業時間	12
	2学期	式と曲線 放物線, 楕円, 双曲線 2次曲線の平行移動 2次曲線と直線 2次曲線の性質 媒介変数表示 極座標と極方程式 コンピュータといろいろな曲線	授業時間	26
	3学期	問題演習 大学入試問題	授業時間	20
評価観点	1. 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。 2. 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的な考え方で問題を解くことができるか。 3. 主体的に授業に取り組んでいたか。			
評価方法	1. 定期考査の素点 2. 平常点(出席状況, 授業態度, 提出物等の提出状況およびその理解度)			
備考				

## 令和二年度 シラバス (授業計画)

教科名	数学	単位数	2	単位
科目名	数学Ⅱ	対象学年	3	学年
科目分類	自由選択	授業形態	一斉	授業
教科書	改訂版 高等学校 数学Ⅱ (数研出版)	担当者	大塚	
使用教材	三訂版 メジアン数学演習Ⅰ・A・Ⅱ・B (数研出版)			
学習内容	ねらい	数学ⅡBの復習及び、入試問題を視野に入れた解答力を養う。		
	1 学期	数学Ⅱの復習	授業時間	24 時間
		2 学期	数学B(数列・ベクトル)の復習	授業時間
	3 学期		過去問演習 入試対策	授業時間
		評価観点	1. 基本的な式の変形、公式の成り立ちが理解でき、それを使うことができるか。 2. 問題を正確に読みとり、それに応じた数学的思考方で問題を解くことができるか。 3. 主体的に授業に取り組んでいたか。	
	評価方法	1. 定期考査の素点 2. 平常点(出席状況, 授業態度, 提出物等の提出状況およびその理解度)		
備考				